

2022年度 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人チャイルドラインなら

1 事業実施の方針

2022年度は、4月からチャイルドラインならの活動を再開し、18歳までの子どもたちの「悩み」や「声」を聴き、その子どもたちの気持ちに寄り添いました。また、養成講座や研修会を開催し相談員の資質を向上させました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
①チャイルドライン事業の実施とその人材育成および広報啓発をする事業	1、チャイルドライン電話相談事業 毎週木曜 16:00~18:30 毎週日曜 17:00~19:30	4月~	事務所	相談員 24名	18歳未満の不特定多数の子ども	1,892
	2、その人材育成 ・相談員の養成講座開講 土曜日5回	2月~ 3月	奈良市内 の会議室	講師 15名	受講生 延62名	134
	・研修会 4回	5月~ 11月	奈良市内 の会議室	講師 4名	受講生 延べ36名	50
	3、広報啓発活動 ・チャイルドライン・ミニカード配布	7月	県内全域	事務員 10名	県内小・中・高校生15万5千人	164
	・ホームページの更新 (法人の活動内容)	6月	事務所	事務員 2名	不特定多数	0
	・新聞記事掲載依頼 (活動再開紹介記事を 5紙の県版で掲載)	4月、 8月	奈良県政 記者クラブ	事務員 2名	不特定多数	0

②子どもの健全育成に関する事業	1、チャイルドライン電話相談事業として実施	4月～	事務所	相談員 24名	18歳未満の不特定多数の子ども	0
③子どもの声を聴き、その声を社会に情報発信する事業	1、子どもの声を聴く電話相談「チャイルドラインなら」の活動から、子どもたちの悩みや問題点が浮かび上がる。それらのデータを纏めてマスコミ各社に記事依頼をし、さらにホームページに掲載し、子どもたちを取り巻く課題について問題提起するとともに解決策を探る。	今年度は実施しなかった				0
④子どもの問題に関する関係機関との連携および交流をする事業	1、奈良県および奈良市などとの連携 2、全国のチャイルドラインとの連携 3、県内関係機関との交流	4月～	奈良県内および全国	事務員 3名	その都度	0
⑤その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	1、法人として実施が必要となった事業について、定款第3条および第4条に規定する範囲内において単年度または試験的に限り実施する。	今年度は実施しなかった				0

事業費合計 2,240,000 円